

平成29年7月吉日

都道府県区市町村教育委員会教育長 様  
各国立・公立・私立中学校長 様  
各中学校技術・家庭科担当者 様  
関 係 各 位

全九州中学校技術・家庭科教育研究協議会  
会 長 井 手 和 憲  
第61回九州地区中学校技術・家庭科教育研究大会  
大会運営委員長 有 村 修 次

第61回九州地区中学校技術・家庭科教育研究大会  
第66回鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会  
**鹿児島大会のご案内（最終案内）（案）**

皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、第61回九州地区中学校技術・家庭科教育研究大会を鹿児島県で開催いたします。

本県では、21世紀をたくましく生き抜く生徒の育成を目指し、技術・家庭科の特質を踏まえながら、「学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する力と態度を育む技術・家庭科教育」という研究主題を設定し、技術・家庭科教育の充実発展をめざして研究活動を進めております。

この機会に多くの皆さま方にご参加いただき、ご意見・ご指導を賜りたいと存じます。諸先生方の多数のご参加を心よりお待ちしております。

## 大会開催要項

1 主催 全日本中学校技術・家庭科研究会  
全九州中学校技術・家庭科教育研究協議会  
鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会

2 後援 鹿児島県教育委員会  
鹿児島市教育委員会  
鹿児島県中学校長会  
鹿児島県産業教育振興会  
公益財団法人 日本教育公務員弘済会鹿児島支部  
公益社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会

3 期 日 平成29年11月29日（水）～12月1日（金）

### 4 日程・会場

11月29日（水）【理事会】城山観光ホテル

11月30日（木）【全体会】かごしま県民交流センター

12:45 13:15 14:00 14:50 16:00 16:20

受付	開会行事	研究発表	指導講評	閉会行事
----	------	------	------	------

12月1日（金）【分科会】鹿児島市内4校（会場によって公開授業開始時間が変わります）

[第23分科会] 9:00 9:30 9:45 10:35 10:55 12:05 13:05 15:00

受付	オリエンテーション	公開授業	移動	授業研究	昼食	研究発表・研究協議・指導講評
----	-----------	------	----	------	----	----------------

[第14分科会] 9:00 9:30 9:50 10:40 11:00 12:10 13:05 15:00

5 研究主題 **学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する力と態度を育む技術・家庭科教育**

6 主題設定の理由

平成 28 年 8 月の「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ（報告）」において、育成すべき資質・能力を三つの柱に整理され、平成 29 年 3 月に新学習指導要領が公示された。その中で、実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することが技術・家庭科の目標として掲げられている。

本県は、昭和 57 年から「問題解決的な学習」の在り方について研究・実践をする中で、学習過程を「6 分節（ほりおこし・課題の共有化・自己追究・相互練り上げ・自己解決・自己評価）」として捉え、分節ごとにその目的や意義を明らかにして授業設計を行ってきた。本県がこれまで積み重ねてきたこの「問題解決的な学習」の研究・実践は、新学習指導要領で示された学習過程の質的改善を図る視点である「主体的・対話的で深い学び」とその主旨やねらいを共有している。そこで、これまでの取組を継続しながら、特に題材指導計画に工夫し創造する場を明確に位置付け、生活の課題を見いだし、最適な解決策を協働して追究させる過程を通して思考力・判断力・表現力を育みたい。

以上のことを踏まえ、本研究会では、これまで研究・実践してきた「問題解決的な学習」を基盤とし、「社会とのつながりを意識させる教材・教具の工夫」や「最適な解決策を協働して追究させる場の設定」、「工夫し創造する能力の評価」の三つに研究の重点を置き、指導方法の改善を図っていけば、学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する生徒の育成ができると考え、本主題を設定した。

7 講師

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官  
 文部科学省 生涯学習政策局 情報教育課 教科調査官  
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 上野 耕史 様  
 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官  
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 筒井 恭子 様

8 公開授業・研究発表

第 1 分科会（技術分野）		第 2 分科会（家庭分野）	
会場	鹿児島市立吉田南中学校	会場	鹿児島大学教育学部附属中学校
授業者	A 材料と加工に関する技術 鹿児島市立吉田南中学校 教諭 小野原 雅 啓	授業者	B 食生活と自立 鹿児島大学教育学部附属中学校 教諭 山 口 隼 人
発表者	C 生物育成に関する技術 始良市立加治木中学校 教諭 是 枝 太 士	発表者	C 衣生活・住生活と自立 曾於市立末吉中学校 教諭 惠 亜 矢
	C 生物育成に関する技術 宮崎県延岡市立東海中学校 教諭 中 村 大 輔		C 衣生活・住生活と自立 大分県日田市立南部中学校 教諭 一 井 浩 美
第 3 分科会（技術分野）		第 4 分科会（家庭分野）	
会場	鹿児島市立鹿児島玉龍中学校	会場	鹿児島市立皇徳寺中学校
授業者	D 情報に関する技術 鹿児島市立鹿児島玉龍中学校 教諭 堀ノ内 将 司	授業者	A 家族・家庭と子どもの成長 鹿児島市立皇徳寺中学校 教諭 西 原 さおり
発表者	B エネルギー変換に関する技術 瀬戸内町立古仁屋中学校 教諭 竹 下 誠	発表者	D 身近な消費生活と環境 出水市立出水中学校 教諭 塗 木 里 奈
	B エネルギー変換に関する技術 長崎県老崎市立勝本中学校 教諭 堤 浩 司		D 身近な消費生活と環境 福岡県久留米市立明星中学校 教諭 本 村 ゆかり
紙上	C 生物育成に関する技術 熊本県熊本市立下益城城南中学校 教諭 浦 上 和 之	紙上	C 衣生活・住生活と自立 沖縄県糸満市立潮平中学校 教諭 亀 甲 恵 子

## 9 指導助言者

分科会	指 導 助 言 者		
第1分科会	鹿児島県総合教育センター 研究主事 上栗 博文	鹿児島大学 教授 寺床 勝也	鹿児島大学 准教授 浅野 陽樹
第2分科会	鹿児島県総合教育センター 研究主事 野崎 博子	鹿児島大学 教授 瀬戸 房子	鹿児島大学 准教授 黒光 貴峰
第3分科会	かごしま県民大学中央センター 主幹兼学習情報係長 木原 敏行	鹿児島大学 准教授 深川 和良	鹿児島大学 講師 坂田 桂一
第4分科会	鹿児島県総合教育センター 研究主事 当房 孝子	鹿児島大学 准教授 金 娟鏡	鹿児島大学 准教授 石橋 愛架

## 10 全体会発表者

- (1) 鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会 鹿児島市立松元中学校 教諭 柿元 慶子  
 (2) 佐賀県中学校教育研究会技術・家庭科部会 白石町立有明中学校 教諭 永原 直美

## 11 大会参加費

参加費（資料代を含む）4,000円，昼食代（希望者）1,000円

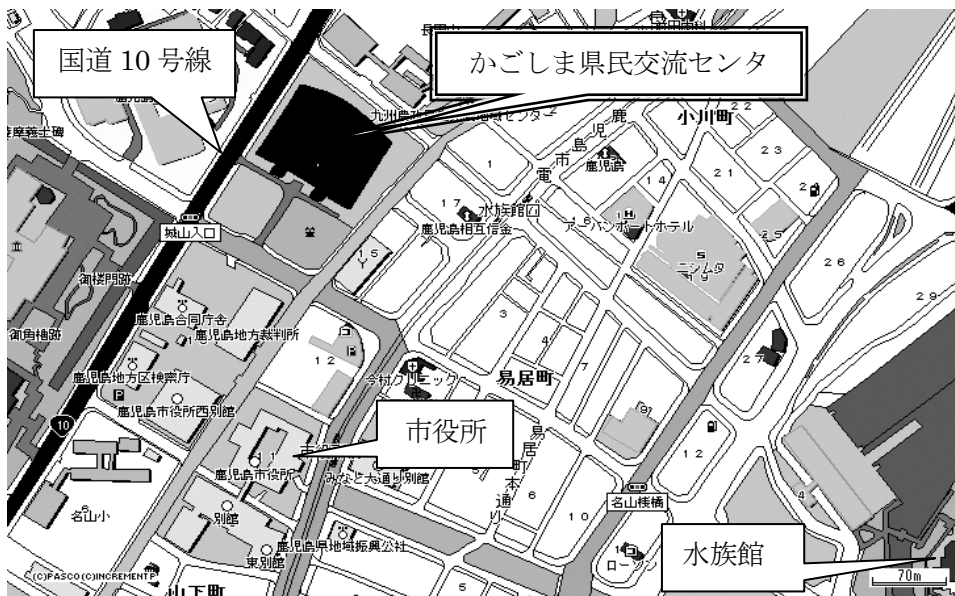
## 12 大会 Web ページ <http://ajgika.ne.jp/~kagoshima/>

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会 Web ページで大会内容を事前に紹介します。

## 13 大会事務局

氏名	所属	所在地	電話・FAX
鹿児島大会運営委員長 有村 修次	始良市立加治木中学校	〒899-5231 始良市加治木町反土 2162	TEL 0995-63-1111 FAX 0995-63-1112
鹿児島大会事務局長 丸田 義宏	鹿児島市立谷山中学校	〒891-0141 鹿児島市谷山中央八丁目 20-5	TEL 099-268-3165 FAX 099-268-3166

## 14 全体会場案内（かごしま県民交流センター）



携帯用  
QR コード



スマートフォン用  
QR コード

Copyright (C) 2009 Kagoshima City. All Rights Reserved.

〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50 TEL:099-221-6600 FAX:099-221-6640

- ◆ JR「鹿児島駅」下車～徒歩 10 分
- ◆ 市電「水族館口電停」下車～徒歩 4 分
- ◆ バス「水族館口」下車～徒歩 5 分
- ◆ 鹿児島空港リムジンバス「市役所前」下車～徒歩 8 分

## 15 大会申込について

### (1) 鹿児島県外

#### ア 参加者

○申込先 各県事務局に直接お申込みください。

○提出物 ① 参加申込書（郵送またはFAX）

② 大会参加費（振込先 各県事務局：申込用紙に記載）

※ 振込手数料は各自でご負担をお願いします。

○申込締切 平成29年9月28日（木）

※ 大会開催2週間前を目安に鹿児島県事務局から参加券、弁当引換券等を送付いたします。

#### イ 各県事務局

別紙の申込書に必要事項を記入の上、鹿児島県事務局にメールでご送付ください。大会参加費も各県で一括して納入してください。また、振込手数料は各県事務局でご負担をお願いします。

○申込締切 平成29年10月6日（金）

### (2) 鹿児島県内

#### ア 参加者

○申込先 各地区総務部長に直接お申込みください。

○提出物 ① 参加申込書（郵送またはFAX）

② 大会参加費

○申込締切 平成29年8月21日（月）

※ 大会開催2週間前を目安に、鹿児島県事務局から参加券、弁当引換券等を送付いたします。

#### イ 各地区総務部長

別紙の申込書に必要事項を記入の上、鹿児島県事務局へメールでご送付ください。

○申込締切 平成29年8月25日（金）

### (3) シャトルバスのご案内

第1、第4分科会では、シャトルバスの運行を予定しています。ご希望の方は、申込書にご記入ください。料金(往復)1,000円、詳しい日程は、参加券に同封してお知らせいたします。

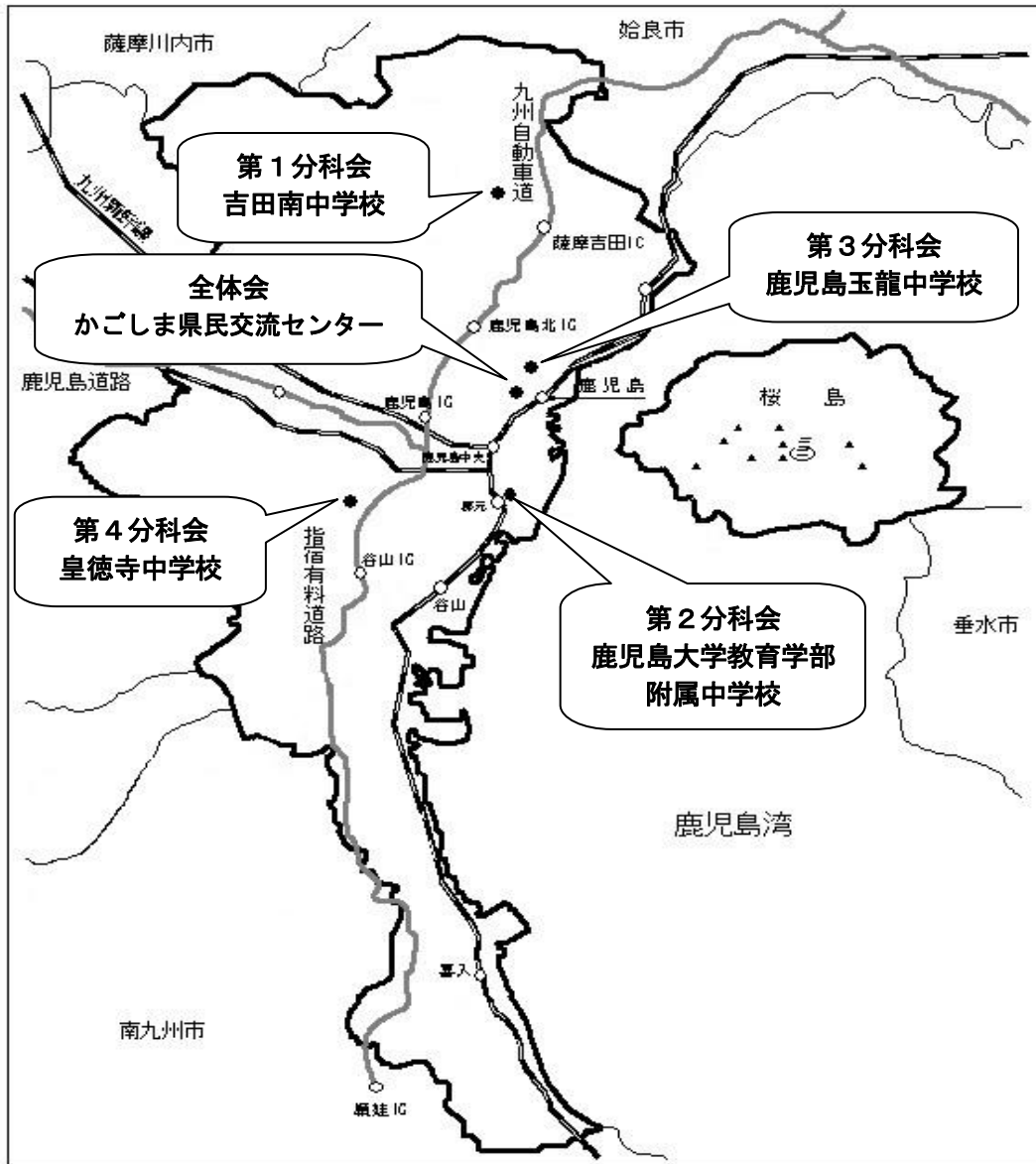
分科会	日 程
第1分科会	鹿児島中央駅 7:50 → 天文館 8:00 → 吉田南中学校 8:50 吉田南中学校 15:30 → 天文館 16:20 → 鹿児島中央駅 16:30
第4分科会	天文館 8:00 → 鹿児島中央駅 8:10 → 皇徳寺中学校 8:45 皇徳寺中学校 15:30 → 鹿児島中央駅 16:00 → 天文館 16:10

※ 時刻は予定のため、変更になる場合があります。

### (4) その他

今大会では、宿泊等のご案内をしておりません。各自でご準備をお願いします。

なお、ご不明な点がございましたら、大会事務局までご連絡ください。



17 分科会会場案内

第1分科会	A 材料と加工に関する技術 C 生物育成に関する技術			<p>会場案内地図 (交通アクセス)</p>
会場	鹿児島市立吉田南中学校 〒891-1304 鹿児島市本名町 565 電話 099-294-2051 FAX 099-294-3310			
授業者	小野原 雅啓	他県発表	宮崎	
発表者	始良市立加治木中学校 教諭 是枝 太士			
題材名	スパイスラックの設計 (1年)			
授業の概要	<p>本授業は、一度製作したスパイスラックを目的や条件を基に、最適な設計を検討させる内容である。</p> <p>そこで、実際に使用する場面から課題を設定させたり、最適な形状を協働して追究する場を設定して改善策を具現化させたりする指導の工夫を行った。このことにより、学びを生かし合い、使用目的や使用条件に即した機能や構造を備えた製作品を工夫できる生徒を育成したい。</p>			

第2分科会	B 食生活と自立 C 衣生活・住生活と自立
会場	鹿児島大学教育学部附属中学校 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 20-35 電話 099-285-7932 FAX 099-285-7950
授業者	山口 隼人 他県発表 大分
発表者	曾於市立末吉中学校 教諭 惠 亜矢
題材名	食生活の自立と調理（2年）
授業の概要	<p>本授業は、前回の調理実習の反省を踏まえて、肉の調理について最適な調理計画を立てさせる内容である。</p> <p>そこで、効率的に調理を行うために調理計画を協働して追究する場を設定したり、導入や終末に社会とのつながりを意識させたりする工夫を行った。このことにより、調理上の性質などに応じて、必要な手順や時間を考えて調理計画を工夫できる生徒を育成したい。</p>

会場案内地図（交通アクセス）

Copyright (C) 2009 Kagoshima City. All Rights

第3分科会	B エネルギー変換に関する技術 D 情報に関する技術
会場	鹿児島市立鹿児島玉龍中学校 〒892-0806 鹿児島市池之上町 20-57 電話 099-247-7161 FAX 099-248-3160
授業者	堀ノ内 将司 他県発表 長崎
発表者	瀬戸内町立古仁屋中学校 教諭 竹下 誠
題材名	信号機プログラムの制作（3年）
授業の概要	<p>本授業は、プログラミング学習ソフトを用いて、最適な信号機のプログラムを検討させる内容である。</p> <p>そこで、身近な交差点の利用状況を基に、よりよい信号機の点灯プログラムを協働して追究し、具現化させる場面を設定した。このことにより、技術と社会とのかかわりを意識し、さらに工夫し創造する態度・能力を育成したい。</p>

会場案内地図（交通アクセス）

Copyright (C) 2009 Kagoshima City. All Rights

第4分科会	A 家族・家庭と子どもの成長 D 身近な消費生活と環境
会場	鹿児島市立皇徳寺中学校 〒891-0103 鹿児島市皇徳寺台三丁目 35-1 電話 099-265-6692 FAX 099-265-6609
授業者	西原 さおり 他県発表 福岡
発表者	出水市立出水中学校 教諭 塗木 里奈
題材名	幼児の遊びを支える（2年）
授業の概要	<p>本授業は、幼児の発達や身につけさせたい力に応じたおもちゃの工夫を考える内容である。</p> <p>そこで、園児の遊びの様子を観察させたり、協働して追究する場を設定したりすることで、最適なおもちゃを製作させる。このことにより、幼児の発達に応じた関わりができる生徒を育成したい。</p>

会場案内地図（交通アクセス）

Copyright (C) 2009 Kagoshima City. All Rights